

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

### 事業名 林業労働災害防止支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 担い手企画係 電話番号：058-272-8491

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 408 千円 (前年度予算額：564 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	564	282	0	0	0	0	0	0	282
要求額	408	204	0	0	0	0	0	0	204
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和3年の林業における労働災害の発生頻度は全産業の中で最も高く、全産業平均の約9倍と極めて高い状況にある。

また、過去5年間の全国における作業別の死亡災害では、伐木造材作業中の事故が全体の約6割を占め、そのうちチェーンソーを使った自己伐倒作業中による事故が約8割で非常に高い値となっている。

さらに、自己伐倒作業中のうちかかり木処理に起因するものは減少してはいるが、毎年少なからず死亡災害は発生していることから、かかり木処理の適正な作業方法等を習得することは、労働災害減少に繋がる。

### (2) 事業内容

○かかり木処理等現地研修会

かかり木にならない伐倒技術の修得及び安全なかかり木処理の作業方法の周知徹底を図るため、現地実技研修会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助 1 / 2 (森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策)  
県 1 / 2 (一般財源)

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	408	林災防岐阜県支部へ委託し研修会を開催
合計	408	

**決定額の考え方**

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画において、森林技術者の確保・育成・定着は施策の柱に位置付けている。その目標値として、木材生産量10万m<sup>3</sup>当たりの労働災害発生件数を令和8年度に6件までの減少を目指している。

(2) 後年度の財政負担

後年後においても、国庫補助金を活用して実施していく。

(3) 事業主体及びその妥当性

<事業主体> 県(委託先:林業・木材製造業労働災害防止協会岐阜県支部)  
<妥当性> 労働災害防止団体法に基づき設立された林業・木材製造業における労働災害の防止活動を行う唯一の団体のため妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第4期岐阜県森林づくり基本計画に基づき、10万m<sup>3</sup>当たりの死傷災害発生件数を令和8年度までに6件まで減少を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①死傷災害発生件数	12.1	11.2	10.0	9.0	6.0	54%
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかり木処理現地実技研修会 2回実施、参加者数25人</li> <li>・安全衛生指導員養成研修 1回実施、参加者数9人</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかり木処理現地実技研修会 2回実施、参加者数20人</li> <li>・安全衛生指導員養成研修 1回実施、参加者数14人</li> </ul>
	指標① 目標：__6.0__ 実績：__11.2__ 達成率：__54__ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	死亡災害の多いかき木処理において、安全に処理する作業方法を習得・再確認することで、林業労働災害防止に繋がる。
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	岐阜県における林業の死傷災害発生件数は減少傾向にある。 (R元:51件、R2:44件、R3:43件)
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 1	現地での研修を実施することで実技指導ができ、座学等で研修を受けるよりも、効率良く知識・技術の習得ができる。

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> 研修参加者にとって、より効果的な研修となるよう事業主体等と調整し、毎年研修内容を検討・改良していく。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> 県内における林業の死傷災害発生件数を減少させるためには、当事業における研修会の開催は不可欠であり、継続して実施していく必要がある。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	なし
組み合わせる理由 や期待する効果 など	